

〔様式 1〕

事務事業評価表

記入年月日	平成16年4月12日			
平成16年度	事業コード	26140	電話	042(769)8251
担当部課名	都市部	開発審査	課	
事務事業名	開発審査会			
予算上の事務事業名	開発審査会経費			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第 6 章	総合的、計画的な土地利用を進めます	事業開始年度
基本施策名	第 1 節	環境と調和し、地域の特色を生かした秩序ある土地利用の実現	15
施策名	第 4 施策	土地利用の計画的誘導	年度

2 実施根拠及び関連法令等

都市計画法第78条

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

義務的経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
都市計画法第50条第1項に規定する不服申立てとしての審査請求に対する裁決と、その他都市計画法により、その権限に属させられた事項としての開発行為等の許可申請に対する議決を行う。	開発行為等許可申請者
	対象数
	16案件(15年度)
	単位
	件
(3)平成15年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
平成15年度開発審査会開催状況	
<ul style="list-style-type: none"> 第1回(4月7日開催)会長の選出、職務代理者の指名他 第2回(5月23日開催)開発許可等申請2件審議 第3回(7月28日開催)開発許可等申請2件審議 第4回(9月22日開催)開発許可等申請3件審議 第5回(11月26日開催)開発許可等申請3件審議 第6回(1月26日開催)開発許可等申請3件審議 第7回(3月26日開催)開発許可等申請3件審議 	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

16,17年度は目標値

成果指標	指標名	指標式・指標の単位	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				13	14	15	16	17
活動指標	開発審査会の開催回数	回数				7	6	6

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	項目	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
		決算	決算	決算(見込み)	予算	予算(見込み)
	決算(予算)額			607	779	779
	人員・時間数			0.2		
	人件費			1,602		
	その他経費			0		
	合計	0	0	2,209	779	779
	特定財源			0		
	対象数(件)			16		
	単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	138,062.5	#DIV/0!	#DIV/0!

10 個別評価(担当課による一次評価)

(1)達成度 評価 A ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	当初の計画どおり7回の審査会が実施できた。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 法律に基づく必置である。
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		
		説明	5人の各専門分野の委員による審議にて目的が達成された。
(4)効率性 評価 A ▼	A:優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている <input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	委員報酬の決定については、他の中核市等の状況調査を行い参考にした。
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	各専門分野の委員(5人)の審議にて、公平性が保つことが出来た。
(6)成果の向上及び費用対効果を高めるための方策		(7)今後の課題となっていること	

11 総合評価(担当課による一次評価)

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較 市の独自の審査会提案基準が策定され、滞りなく遂行された。
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	法に基づき設置された審査会は、今後も土地利用の計画的誘導のため、進めていくこととなります。
<input type="checkbox"/>	完了・廃止	
<input type="checkbox"/>	完了(廃止)済	

12 二次評価コメント(行政評価会議による二次評価)

--